

わたしのすきな絵本

「今月の一冊 ～わたしのすきな絵本～」(11月)

<ご紹介者>

矢祭町長 佐川 正一郎

矢祭町子ども読書の街づくり推進委員会委員長



『エゾオオカミ物語』

あべ弘士 作 / 講談社

対象：小学校低学年から



内容のご紹介

秋も深まり紅葉の季節です。滝川溪谷や、矢祭山公園にお出かけください。

第78回読書週間が10月27日から11月9日までの期間で読書イベントが各地で開かれています。今年の読書標語は、“この一行に逢いにきた”です。この一行との出会いは、大切なことです。

11月にご紹介する絵本は、大変お世話になっている動物絵本作家あべ弘士先生の“エゾオオカミ物語”です。北海道の雄大な自然の中で、生きたエゾオオカミのお話です。

自然の中で生きるには、共生しながらの行動やバランスの必要性が大事だと思います。そして、私たち人間も自然との関りを大切にしなければならないことが、この絵本から学ぶことができます。

また、文明の発展とともに動物達の生態の変化に気づきます。読書の秋に子ども達が読んで欲しい絵本です。

それは、たった100年前のことでした.....

北海道にいたエゾオオカミが、この世からいなくなったのは、約100年ほど前のこと。動物絵本の第一人者あべ弘士先生が、人間と動物の歴史を静かに語ります。

紹介文/講談社BOOKクラブ(矢祭もったいない図書)